

【新改訳改訂第3版】

I 列王

19:1 アハブは、エリヤがしたすべての事と、預言者たちを剣で皆殺しにしたこととを残らずイゼベルに告げた。

19:2 すると、イゼベルは使者をエリヤのところに遣わして言った。「もしも私が、あすの今ごろまでに、あなたのいのちをあの人たちのひとりのいのちのようにしなかつたら、神々がこの私を幾重にも罰せられるように。」

19:3 彼は恐れて立ち、自分のいのちを救うため立ち去った。ユダのベエル・シェバに来たとき、若い者をそこに残し、

19:4 自分は荒野へ一日の道のりを入って行った。彼は、えにしだの木の陰にすわり、自分の死を願って言った。「【主】よ。もう十分です。私のいのちを取ってください。私は先祖たちにまさっていませんから。」

19:5 彼がえにしだの木の下で横になって眠っていると、ひとりの御使いが彼にさわって、「起きて、食べなさい」と言った。

19:6 彼は見た。すると、彼の頭のところに、焼け石で焼いたパン菓子一つと、水の入ったつぼがあった。彼はそれを食べ、そして飲んで、また横になった。

19:7 それから、【主】の使いがもう一度戻って来て、彼にさわり、「起きて、食べなさい。旅はまだ遠いのだから」と言った。

19:8 そこで、彼は起きて、食べ、そして飲み、この食べ物に力を得て、四十日四十夜、歩いて神の山ホレブに着いた。

19:9 彼はそこにあるほら穴に入り、そこで一夜を過ごした。すると、彼への【主】のことばがあった。主は「エリヤよ。ここで何をしているのか」と仰せられた。

19:10 エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に、熱心に仕えました。しかし、イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。」

19:11 【主】は仰せられた。「外に出て、山の上で【主】の前に立て。」すると、そのとき、【主】が通り過ぎられ、【主】の前で、激しい大風が山々を裂き、岩々を碎いた。しかし、風の中に【主】はおられなかつた。風のあとに地震が起つたが、地震の中にも【主】はおられなかつた。

19:12 地震のあとに火があつたが、火の中にも【主】はおられなかつた。火のあとに、かすかな細い声があつた。

19:13 エリヤはこれを聞くと、すぐに外套で顔をおおい、外に出て、ほら穴の入口に立つた。すると、声が聞こえてこう言った。「エリヤよ。ここで何をしているのか。」

19:14 エリヤは答えた。「私は万軍の神、【主】に、熱心に仕えました。しかし、イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、あなたの預言者たちを剣で殺しました。ただ私だけが残りましたが、彼らは私のいのちを取ろうとねらっています。」

19:15 【主】は彼に仰せられた。「さあ、ダマスコの荒野へ帰つて行け。そこに行き、ハザエルに油をそいで、アラムの王とせよ。

19:16 また、ニムシの子エフーに油をそいで、イスラエルの王とせよ。また、アベル・メホラの出のシャファテの子エリシャに油をそいで、あなたに代わる預言者とせよ。